

# 知事記者会見の概要

日 時：令和3年1月6日(水) 10:00～10:20

場 所：502会議室

出席者：知事、総務部長、広報広聴推進課長

出席記者：13名、テレビカメラ5台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、代表・フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

代表質問

- (1) 知事選挙について

フリー質問

- (1) 代表質問に関連して
- (2) 新型コロナウイルスへの対応について
- (3) 大雪への対応について

(※知事選立候補予定者としての質疑応答部分を除き掲載しています。)

<幹事社：河北・共同・TUY>

## ☆報告事項

### 知事

皆さん、おはようございます。

それでは早速ですが、新型コロナへの対応について申し上げます。県内では、昨日までに42日間連続で新規感染者が確認されております。累計で407人になったところであります。新型コロナ専用病床の占有率でありますけれども約18%と若干減少傾向にはあるのですが、年末年始も県内の感染症指定医療機関やその他の医療機関で多くの患者を受け入れていただきました。医療従事者の皆様には、年末年始も献身的に業務に従事していただきました。そのご努力、ご尽力に対しまして、改めて深く感謝を申し上げたいと思います。

さて、首都圏を見てみますと、東京都の新規感染者は昨日5日もですね、1,200人を超えております。隣接3県、埼玉県、千葉県、神奈川県でも過去最多となるなど、感染拡大が止まらない状況でございます。そして、政府では、明日7日に首都圏を対象とする緊急事態宣言が決定される見込みとなっております。また、本県内でも首都圏や沖縄県など感染拡大地域からの移動による感染が確認されているところであります。

こういった状況を踏まえまして、私から県民の皆様には次のご協力をお願いしたいと思います。

首都圏1都3県との間の不要不急の往来については、控えていただくようお願いいたします。その他の感染が拡大している地域、例えば北海道、中部圏、関西圏、沖縄県との間の往来についても、慎重にさせていただくようお願いいたします。受験などによる往来は除きます。なお、テレワークやオンラインなどを積極的に活用していただきたいというふうに思っております。県民の皆さんの命と健康を守るというのが本当に重要でありますので、感染拡大防止のためにもぜひ我が事としてしっかりお願いしたいというふうに思っております。

また、繰り返しのお願いとなるのですが、基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いいたします。発熱など体調がすぐれない時は、決して我慢をせず、かかりつけ医や受診相談センターに電話で早めにご相談いただきたいと思います。受診の遅れは重症化につながりますので、ご家族や職場の方からも早期受診を促していただくようお願いいたします。

なお、首都圏を対象とする緊急事態宣言が発出された場合には、本県の対応についても、速やかに決定してまいりたいと思っております。

政府のGo Toキャンペーン事業や本県の各種キャンペーン事業につきましては、政府の動向や本県の感染状況などをみながら、対応してまいりたいと考えております。

次は、大雪への対応です。

年末から大雪となりまして、数年に一度の強い寒波の影響で県内の広い範囲で大雪警報が発表され、北村山、最上、西置賜地域を中心に、1メートルを超える積雪となりました。

県では、1月1日、元旦の日に「山形県豪雪災害対策本部」を設置して、雪害防止対策の徹底を呼びかけるとともに、被害の把握と速やかな対処に努めているところです。

予報によりますと、明日7日から8日にかけては、再び大雪となるおそれがあります。また、庄内では暴風雪となることも予想されております。なお、昨日5日には、庄内総合支庁にも豪雪対策本部が設置されました。これで県内4地域すべてに豪雪対策本部が設置されたところであります。

県民の皆様には、大雪や吹雪による交通障害の発生が心配されますので、時間には余裕を持って行動して、自動車を運転する際は、より慎重な運転を心がけていただくようお願いいたします。また、屋根からの落雪や転落など、除排雪作業中の事故が多発しておりますので、雪下ろしや除排雪作業の際には、命綱・ヘルメットを着用する、また足元や周囲の状況をよく確認する、そして、排雪する時ですね、近所の人に声かけをしてから始めるということなど、安全対策を徹底していただくようお願いいたします。

最後、豚熱への対応について申し上げます。

鶴岡市の農場で発生した豚熱に関しましては、発生農場の初回の消毒と堆肥の処理などの防疫措置は、12月29日をもって完了いたしました。作業にご協力いただきました、庄内地域の市町、またJA、建設業など関係者の皆様には、深く感謝申し上げます。本当に24時間体制でお仕事をしていただいたことに深く感謝を申し上げたいと思います。

なお、県内の全養豚場に対して、飼養している豚に異状がある場合には、早期通報するよう促しているところでありますが、現在まで異状があったという報告はありません。

現在、今回の発生農場だけで封じ込められるよう、農林水産部豚熱対策本部を中心に、市町村や畜産関係者などと連携しながら、発生農場の追加消毒などを行うとともに、周辺農場の防疫対策の徹底を図っているところです。

豚熱は豚、イノシシの病気であり、人に感染することはありません。また、感染した豚の肉が市場に流通することはありません。県民の皆様にはご安心いただきたいと思います。

県としましては、今後とも、防護柵が未設置となっている農場へ整備促進や飼養衛生管理基準の遵守徹底などを指導し、発生防止対策に万全を期してまいります。

私からは以上です。

☆フリー質問

記者

知事、冒頭の発言でですね、言及があったと思うのですけれども、「1都3県との不要不急の往来は控えてほしい」という、今メッセージがありました。これは今まで「慎重な移動を」というようなメッセージを県としては発出されたと思うのですけれど、これとの対応として今知事がおっしゃったことは、これまでの対応と変わっているのかそれとも変わっていないのか、要は往来自粛を要請したいという形になるのかどうかというところを教

えていただければと思います。

知事

そうですね。首都圏の状況がですね、先ほど申し上げたように感染が止まらない状況であって、医療現場も大変なひっ迫をしているということで、1都3県の4人の知事が政府に非常事態宣言を発出するような要請をされて、そして政府でもそれに応える形で明日から決定されるというような報道でございますので、やはり、これ全国がですね、できる限り足並み揃えてしっかりと取り組んだほうが、全く同じ取り組みでないにしてもですね、やはり歩調を合わせるということは大事なことかなと思っております。人の移動というものをですね、できるだけ控えてもらって、不要不急の移動はできるだけ控えてもらって、そしてこの日本全体がですね、減少に向かうようにする、それがやっぱり大事なのではないかなと思っております。やっぱり心を一つに、できる限りその方向で、本県でもやはり取り組んでいければと思っております。朝、部局長と私は会議もちょっと持ちまして、できる限りその方向でということになりましたが、また何度も会議を開きまして、状況を見ながら、しっかりと検討していきたいというふうに思っています。

現時点では、これまでよりもちょっと強い要請になるかと思えます。これまで申し上げてきたのは、「できるだけ移動を控えて」というようなことを申し上げてきました。明日から首都圏での緊急事態宣言が決定されるということを取引きと言いますか、そのことをしっかりと本県としても受け止めて、首都圏との往来は控えていただくよう県民の皆さんにお願いをしたいというふうに思っています。

記者

表現の問題で大変恐縮なんですけれども、今の、自粛を要請するというような意味合いと取ってよろしいんでしょうか、それともそこまでは行かないけれども、以前の慎重な行動をとるところの、不要不急な往来という話もたしかあったと思うのですけれども、さらに重ねての要請ということなのか、どのようなフェーズ、確か県のレベル5になれば自粛要請というところがあったと思うのですけれども、そこまで移動に関しては踏み込まれるのか、それともそこまではいかれないのかというその辺、現時点で結構です。

知事

はい。警戒レベルの5にはなっておらず、今、県のレベルでは4の【特別警戒】の段階です。ですが、「控えてほしい」という表現で申し上げました。

「自粛」というともう駄目ということになるかと思えますけれども、受験などは普通通り行われるということでありますし、自粛に近いのですけれども、「控えてください」ということでお願いしたいと思えます。

それから、首都圏以外の感染拡大している地域を申し上げました。北海道、中部圏、あ

と関西圏、沖縄県、そこについては「往来を慎重にしていきたい」というふうに思います。首都圏や沖縄県といったところとの移動、あるいは往来、そういうことによる感染が最近、大変いくつも確認されております。そういったことからですね、しっかりと本県の感染拡大防止に県民の皆さんと一丸となって取り組んでいくことが大事だと思いますので、首都圏以外の感染拡大地域との間の往来も慎重にお願いしたいというふうに思います。

記者

読売新聞の八木です。今の関連なんですけれども、どれぐらいの期間、それを要請するかというのは何か念頭にありますかでしょうか。

知事

はい、今日また会議をこのあと予定してございます。そこですね、期間であったり、また、そのGo To トラベル、イート、また県の各種キャンペーン、そういうことについて今からまた検討したいというふうに思っています。

記者

それではとりあえず要請をして、期間は今後会議などを開いて検討していくということですね。

知事

はい。

記者

わかりました。

記者

YBCの宝池です。お世話様です。キャンペーンについては今後対応を検討するということですが、Go To イートは11日まで利用を控えるように呼びかけていらっしゃると思いますが、それについてもお考えというのはいかがでしょうか。

知事

そうですね、明日ですかね、政府のほうでそれをどうされるかということを発表されるのかなと思いますので、それもきちんと踏まえてというのはおかしいですけども、それもお聞きした上で、また本県の感染状況なども踏まえて、それで判断していきたいというふうに思います。

記者

NHKの岡野と申します。よろしくお願ひいたします。今の質問に関連してで恐縮なのですが、11日まで一時停止という状況ですけれども、それが延長される可能性というのはどうですか。

知事

はい、それは政府の明日の決定も見ながら、そしてほかの県の動向も見ながら、そして何よりも本県の感染状況を見ながらですね、判断していきたいと思ひます。

記者

ということは、今日会議をされて、恐らく明日、県として何かしら発表をされるという。

知事

そうですね、今日いろいろ会議をまた何回もやりますし、明日、その政府からの発表、決定、そういったことがありましてからもまた会議を開いて、しっかり皆さんにお知らせしていきたいというふうに思ひます。

記者

あともう1点なのですが、大雪の関係で、今日また農林水産部のほうで会議もされていると思うんですけども、何か知事として、明日から大雪が予想される中で、県民に呼びかけたいことがあればお願ひしたいです。

知事

はい。ものすごい寒気が入ってくるということで、これまでにないような、予報を見てもみますとですね、最低温度がマイナス10度で、最高がマイナス5度などというのは、ちょっと今まで私も経験したことがないような寒さだと思います。

県民の皆様にはくれぐれもですね、やはりお体に、風邪をひかれないように留意をしていただきたいと思ひますし、あと、外を歩くにしても、もうガンガン凍っているのじゃないかと思ひますので、転倒されたりしないように。そして無理にですね、屋根に上ったりされないように注意をしていただきたいなと思ひます。できる限り2人以上とかですね、そして一人暮らしの方はご近所にちょっとお声がけしてから除排雪をしていただくとかですね、本当に県民の皆さんの命と健康をしっかりご自分でも守っていただきたいというふうに思っております。

記者

ありがとうございます。